

プラズマエレクトロニクス分科会



- 2. 春秋講演会シンポジウム
- 担当幹事： 石川健治, 古閑一憲, 松井都, 竹内希, 長澤寛規, 新田魁洲, 呉準席
- 退任予定： 谷出敦, 平松亮, 田中宏昌
- 1. 分科内招待講演 (石川)
 - 2023春 堀 勝(名大), 秋 寺嶋和夫 (東大),
 - 2024春 宮島秀史 (キオクシア), 秋 浜口智志 (阪大),
 - 2025春 栗原一彰 (キオクシア)
- 2. 海外招待講演 (呉)
 - 2024秋 Prof. Eun Ha Choi (Kwangoon U, Korea),
 - 2024秋 Prof. Magdaleno Vasquez (University of the Philippines Diliman)
- 3. 秋シンポジウム (長澤, 新田)
 - 2024秋 プラズマ活性溶液とその応用

分科内招待講演



- 九州大学 高等研究院 院長
- 九州大学 大学院システム情報科学研究所 教授
- 九州大学 主幹教授

• プラズマ理工学

- 昭和57年からプラズマ理工学に関する研究に従事。特に、Si薄膜太陽電池の計測と制御に関する研究に従事。最近、シリコン薄膜セルの製造にNEDOの委託を受け、プラズマエレクトロニクス賞、日本学術振興会第16回プラズマエレクトロニクス賞、第3回プラズマエレクトロニクス賞、第7回プラズマエレクトロニクス賞を受賞。



Naing Thet (Research Fellow)

Department of Chemistry
University of Bath

Email ntt20@bath.ac.uk



- Wound dressing
- Plasma treated hydrogel

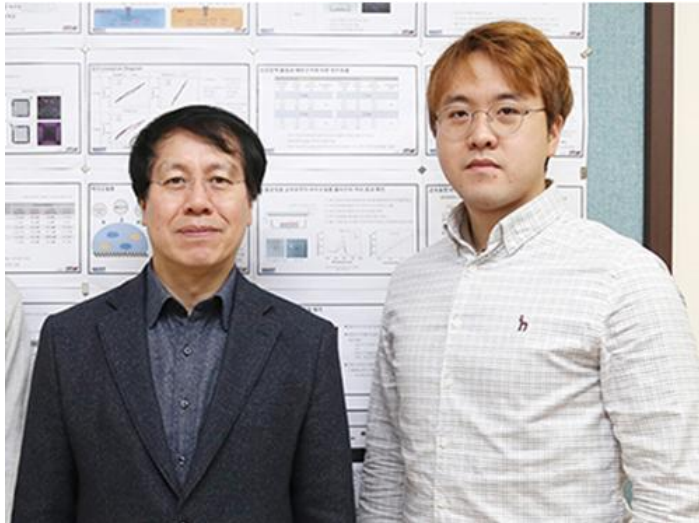


Sanghoo Park (Assistant Professor)

Department of Nuclear and Quantum Engineering

KAIST(Korea Advanced Institute of Science and Technology)

Email sanghoopark@kaist.ac.kr



- APP
- RONS in gas and liquid

応物2025秋シンポジウム企画 (プラズマ触媒反応)

プラエレ分科会担当幹事：

長澤 寛規，新田 魁洲（田中 宏昌先生，谷出 敦さま）

大分類8代表：

林 信哉先生

シンポジウム概要

「プラズマ触媒反応が拓く革新的物質変換技術（仮）」

【シンポジウム趣旨】

一般に、物質変換プロセスは、反応を推し進めるために多量の熱エネルギーを必要とする。非熱的なアプローチの活用は、このエネルギー消費を抑制し、低炭素で持続可能な物質変換を実現する上で不可欠である。プラズマ触媒反応をはじめとする先進的な物質変換技術はその有望な手段の一つであり、本シンポジウムでは、電場・プラズマ・触媒・電極反応などを融合した物質変換の全体像を俯瞰するとともに、メカニズムや応用例に関するご講演を通じて、今後の課題や展望について議論したい。

【シンポジウム構成】

招待講演 ~7件、一般講演 数件

候補者・候補テーマリスト

研究者	所属	テーマ	分類
野崎 智洋	東京科学大学	大気圧プラズマを基盤とした電子駆動触媒反応	概要
関根泰	早稲田大学	電場印加触媒プロセス	概要 (非プラズマ反応)
金賢夏	産総研	プラズマと触媒の相互作用メカニズムの解明	概要 / メカニズム
寺本慶之	産総研	プラズマ触媒の反応場解析	メカニズム
高草木達	北海道大学	プラズマ触媒反応の機構解明	メカニズム
古川森也	大阪大学	低温プラズマ触媒反応によるメタネーション	メカニズム / 応用
寺島千晶	東京理科大学	水中プラズマによる物質(ダイヤモンド)・触媒合成	プラズマ源 / 応用
上坂裕之	岐阜大学	高密度基材包囲プラズマによるDLC製膜	応用
神原信志	岐阜大学	大気圧プラズマによるアンモニアからの水素製造	応用
都甲将	大阪大学	プラズマ触媒によるメタネーション($\text{CO}_2 \rightarrow \text{CH}_4$)	応用
佐々木浩一	北海道大学	プラズマ電解による水と空気からのアンモニア合成	応用
桑畑周司	東海大学	プラズマジェットを用いたアンモニアの室温合成	応用